※令和４年度以降入学生用

学校番号	3034

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「詳説世界史」　（山川出版社）						
副教材等	「最新世界史図説タペストリー　二十四訂版」　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界の歴史における時間軸・空間軸をとらえる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界各国の諸事情を踏まえ、現在やこれからの日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸史料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史をわが国の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身に付けているか。	世界の歴史のそれぞれの事象を大きな流れの中にとらえ、さまざまな角度から考察できるか。また、さまざまな見方について検討し、自分の意見を持つように到るか。	世界の歴史に関心を持ち、意欲的に追求しようとしているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1部世界史へのまなざし	地球環境からみる人類の歴史 日常生活からみる世界の歴史	a:自然環境と人類の関わり、および人類の進化の過程の概要を理解している。 b:長期にわたる地球気温の変化を示す統計資料や「地球カレンダー」などの資料をもとに、地球の自然環境が直面している危機およびその克服へ向けた取り組みを、多面的・多角的に考察し表現している。 c: 自然環境と人類の進化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期テスト ノート	定期テスト ノート	学習状況 レポート
	第Ⅰ部　諸地域の歴史的特質の形成	第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	a:各地域について気候や地形を概観し、灌漑農業をもとにいち早く文明化したことを理解している。 b: 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 c: 古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期テスト ノート	定期テスト ノート	学習状況 レポート

※令和４年度以降入学生用

2学期	第Ⅱ部　諸地域の交流・再編	第４章 西アジアと地中海周辺の国家形成〞 第５章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 第６章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	a:　ヨーロッパや西アジアで生まれたさまざまな宗教が、西アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解している。 b:　ヨーロッパや西アジアの宗教や国家についての史料をもとに、キリスト教・イスラーム教の広がりを多面的・多角的に考察し表現している。 c:　キリスト教・イスラーム教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期テスト ノート	定期テスト ノート	学習状況 レポート
3学期		第７章 ヨーロッパ世界の変容と展開 第８章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	a:　１３～１４世紀のヨーロッパ世界の変容と展開、モンゴル帝国の拡大と変容について理解している。 b:　さまざまな史料をもとに、ヨーロッパ・中央ユーラシアの人々の動向が、世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c:　ヨーロッパ・中央ユーラシアの動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期テスト ノート	定期テスト ノート	学習状況 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度